

## 輸送動向について（平成28年度第1－四半期）

平成28年7月

## 1. 輸送概況

4月14日より断続的に発生した熊本地震や6月下旬の鹿児島線・山陽線大雨等の影響により高速貨222本が運休した（前年同期は、高速貨97本が運休）。

コンテナ貨物は、鉄道へのシフトが続いている食料工業品が好調に推移したほか、積合せ貨物やエコ関連物資が前年を上回った。

一方、農産品・青果物が九州地区の玉葱の生育不良により低調な発送となったほか、紙・パルプの荷動きの低調、熊本地震による東海発、九州向け自動車部品の減送により、コンテナ貨物全体では前年比99.0%となった。

車扱貨物は、石油が堅調な発送となったことに加えて、セメント・石灰石の荷動きが好調となったため、車扱貨物全体では前年比104.9%となった。

## 2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	1－四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,239	5,291	99.0%
車扱	1,869	1,782	104.9%
合計	7,109	7,073	100.5%

## 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	358	380	-22	94.2%
	化学工業品	514	517	-3	99.4%
	化学薬品	344	349	-5	98.5%
	食料工業品	948	918	29	103.2%
	紙・パルプ	767	788	-21	97.3%
	他工業品	360	371	-12	96.9%
	積合せ貨物	662	656	6	101.0%
	自動車部品	161	168	-7	96.0%
	家電・情報機器	106	109	-3	97.4%
	エコ関連物資	113	108	5	104.4%
	その他	906	926	-19	97.9%
	コンテナ計	5,239	5,291	-52	99.0%
車扱	石油	1,210	1,201	8	100.7%
	セメント・石灰石	300	245	56	122.7%
	車両	199	182	17	109.2%
	その他	160	154	6	104.0%
	車扱計	1,869	1,782	87	104.9%
合計	7,109	7,073	36	100.5%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)